



ガバナー月信

UNITE
FOR
GOOD

Rotary International District 2550 tochigi

2026.2.1 発行

Sequence 01 ガバナーメッセージ

親愛なるクラブ会長の皆様へ

CONTENTS

ガバナーメッセージ	Sequence 01
クラブ紹介 [足利西RC] [小山中央RC] [小山南RC] [鹿沼RC] [鹿沼東RC]	Sequence 02
ポリオ撲滅キャンペーン 活動報告 [第2グループ]	Sequence 03
新入会員/お知らせ	Sequence 04
コーディネーターニュース	Sequence 05
2025年12月会員数報告	Sequence 06



R.I.D 2550 tochigi
Facebook QR

ロータリー平和構築と紛争予防月間

—青少年育成の意義—

クラブ会長の皆様のおかれましては、年度の後半を迎えますます健勝にてご活躍のこととお喜び申上げます。



さて、ロータリーの究極の使命は、奉仕を通じて持続可能な平和を築くことにあります。平和構築と紛争予防月間にあたり、私たちは改めて「平和は人の心の中から生まれる」という原点に立ち返る必要があります。そして、その心を育む最も重要な存在こそが、未来を担う青少年です。

争いの多くは、無理解、偏見、そして対話の欠如から生まれます。異なる文化や価値観に触れ、それを尊重し合う経験を若い世代が持つことで、分断ではなく共生を選び取る力が育まれます。ロータリーの青少年交換、インタークト、ロータークト、米山奨学事業などは、単なる国際交流や奨学制度ではなく、平和を創る人材を育てるための尊い投資です。

異国の地で生活し、言葉や習慣の違いに戸惑いながらも友情を築いた若者は、将来、国や立場が異なる相手とも対話によって問題を解決できるリーダーへと成長します。その一人ひとりの経験が積み重なり、やがて世界の紛争を未然に防ぐ大きな力となっていくのです。
私たちロータリアンの役割は、単に支援することではありません。青少年の可能性を信じ、挑戦の場を与え、温かく見守ることこそが平和への奉仕です。今月、各クラブでの青少年育成への取り組みをさらに強化し、次世代に「対話と理解による平和」というロータリーの精神を確かに引き継いでまいりましょう。未来の平和は、今日出会う一人の若者の心の中から始まります。私たちの行動が、その希望の種を育てることを心から願っております。

ICU ロータリー平和フェローシップ – ロータリー平和フェローは、世界各地で協力と平和を推進し、紛争解決に貢献するリーダーです

RIJYEM RIJYEMTOP | RIJYEM ライジェム

米山記念奨学会 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 | ロータリー米山記念奨学会は、外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体です。

国際ロータリー第2550地区
ガバナー 二十二 修 (宇都宮北ロータリークラブ)

Sequence
02 クラブ紹介

[足利西ロータリークラブ]

会員数12名の弱小クラブですが、創立63年と歴史のあるクラブです。地域集中・地域密着で奉仕活動を通じて、会員相互の親睦・友情を図っています。

主な活動は、バドミントン交流会です。青少年育成又は、地域社会の交流、大規模自然災害復興支援を目的に開催しています。11月16日に開催し、今回で13回目になります。9歳から73歳までの参加者とロータリアンを含めますと約80名で行われました。昼食はクラブで準備し配布しております。

又、食事後には、沢山の賞品を用意し、bingo大会やジャンケン大会を行いとても喜ばれています。

大規模自然災害復興支援と致しましては、募金をお願いしております。募金して下さった方には石巻のワカメをお配りしております。

それから、会員から商品を提供していただき賞品としています。活動資金不足の中、継続しております事業です。

その他の社会奉仕と致しましては、児童養護施設イースターヴィレッジへの協賛、足利花火大会後の清掃協力等です。

青少年奉仕委員会の活動と致しましては、今年度は一年交換学生を受け入れております。デンマークの16歳の男性です。又、一年交換派遣学生の推薦を致しまして、デンマークに内定が決定しております。

親睦活動と致しましては、家族親睦旅行・納涼家族会・新年家族会・牡蠣例会等実施しております。特に牡蠣例会の牡蠣は、東北支援を含め石巻から牡蠣を購入し、毎年楽しみにしている会員家族も多くいらっしゃいます。

通常例会と夜間例会の月2回の例会です。夜間例会では会員同士で酒を酌み交わし友情が芽生え、とても楽しいひと時を送っています。

中々多くの奉仕は出来ませんが、今後も身の丈にあった活動を続けていきます。



足利西ロータリークラブ

2025-26年度会長 世取山 晃央
幹事 荻野 純三

[小山南ロータリークラブ]

小山南ロータリークラブ25~26年の会長を仰せつかりました
山中史朗と申します。

少人数のクラブのせいか、入会25年にして幹事・会長、ガバナー補佐を経験させていただき、今回は三度目の会長となります。とはいっても浅学菲才の身であり、世の流れも速く、また一年生のつもりで新たな気持ちで会長を務めさせていただきます。

小山南クラブは会員同士非常に仲が良く、理事会で決まることは何事も全員参加で問題なく進められ、たまに議論に発展するにしてもいざ実行となれば、全員で力を合わせて行動するクラブです。

今年度の主な活動としては、7月度は新規入会者2名の歓迎会、第43回学童野球ロータリー大会 8月度は他クラブとの合同例会 9月度は小山市花火大会後のクリーン作戦参加、地区大会の参加 10月度はポリオデー参加、ガバナー公式訪問 11月度はガバナー公式訪問反省会、他クラブとの合同例会 12月度は家族奉仕のクリスマス会、1月度は新年会、会員企業優良従業員表彰 2月度は第5GのIM参加、3月度は他クラブとの合同例会4月度はお花見会、地区外クラブとの合同例会 5月度は企業対抗ボーリング大会 6月度は親睦打ち上げ旅行が計画されております。



これらのイベント以外にも毎年RYLAの参加や全会員の会員卓話が予定されています。また今年度は他クラブとの合同例会をできるだけ多く開催して、第5G内の親睦はもちろん情報交換をしながらロータリーの未来を語り合う場にしていきたいと思います。そして今年度は若い会員に各委員長を務めてもらい、若い感覚で事業を企画していただき、古参会員はできるだけ温かく見守る立場で参画していくように努めたいと思いますが、おとなしくできないのが古参会員でそれもまた楽しいものです。

25-26年も前年度会長方針を承継して、楽しいクラブ作りを目指しますので一年間よろしくお願ひいたします。

小山南ロータリークラブ
2025-26年度会長 山中 史朗
幹事 大出 仁義

トップページへ
戻ります

[小山中央ロータリークラブ]

小山中央ロータリークラブは今年度創立30周年を迎える事になりました。

2025～2026年度は森容子会長の元で6つの活動計画を立てました。

1.記憶に残る30周年記念事業を計画しました。

2.加藤政弘ガバナー補佐を全力で協力支援する事。

3.未来を見据え会員増強、退会者防止に真摯に取り組む事。

4.実績ある奉仕活動を継続し子供達の未来を応援する事。

5.クラブの活力を育むためにクラブの垣根を越えて楽しくロータリーを語り親睦を深め事できるような事業を計画する事。

6.基本理念「ロータリーの目的」例会で唱和し共に行動する事。

2025～2026年度の森容子会長は女性のチャーターメンバーであり本年度が2度目の会長職となります。現在、小山中央ロータリークラブは24名の会員で運営されている関係上、会長職も二回り目になりつつあります。一方で会員はチャーターメンバーも多く会員間の絆は深く和気あいあいとした関係性が構築されており居心地の良いロータリークラブと言えるのではないでしょうか。

さて、具体的な奉仕活動として永年続いているのが市内の畠をお借りして薩摩芋の植え付けから芋掘り収穫を市内の施設の少年少女を招いて事業化している奉仕活動です。コロナ前は子供達に芋掘り体験と収穫後のバーべキュー大会を開催していましたがコロナにより人を集めることに対する感染懸念から最近は芋植え芋堀はロータリーメンバーで担当し収穫した薩摩芋は市内のイベント会場でロータリー活動のPRと共に来場者に無償配布し好評を得ています。

今年度の30周年メイン事業は小山中央ロータリークラブ「愛のチャリティーゴルフコンペ」と銘打って11月17日にオリムピック・スタッフ都賀ゴルフコースにて盛大に開催されました。その収益金は小山市内の恵まれない子供達の施設に寄付する事になっています。また、そのゴルフコンペは動画撮影しており、YouTubeで全世界に公開する予定です。合わせて小山中央ロータリークラブの歩みを初代阿久津治久会長と今年度森容子会長のスペシャル対談として動画撮影しYouTubeで公開致します。

奉仕プロジェクト委員長
横田 学



小山中央ロータリークラブ
2025-26年度会長 森 容子
幹事 松本 淳子

[鹿沼ロータリークラブ]

当クラブは1960年1月23日に栃木ロータリークラブ様をスポンサークラブとして創立しました。昨年は65周年を迎えるとともに、市田登ガバナーを石原敬士パストガバナー以来35年ぶりに輩出し、クラブ一丸となつた年でした。無事に一年を乗り切ることができましたのも、地区のクラブ・会員の皆様のご支援があった賜物とこの場を借りて心より厚く御礼申し上げます。

当クラブは、現在会員数60名で活動しており、本年より例会場を鹿沼商工会議所3階大会議室に移しまして、毎週例会を開催しております。

当クラブの特徴的な奉仕事業として、一つ目は、国際奉仕事業として複数回にわたりフィリピンセブ島への校舎寄贈を実施してきました。現地の子供達にも喜ばれる事業でありましたが、コロナ禍により中断を余儀なくされました。そこで、昨年初めてグローバル補助金を活用して、タイのソンサン公立病院に医療機器を寄贈しました。これからも国際奉仕事業を模索してまいります。



グローバル補助金

二つ目は、青少年奉仕事業として鹿沼市教育委員会と協働して市内の小中学校を対象に盲導犬体験教室を実施しています。今年で14回目となります。東日本盲導犬協会の協力のもと、視覚障害者の理解を深める講義を聴くとともに、実際に盲導犬と一緒に歩く体験をする事業です。障害者と共生する社会の実現に寄与する事業となっています。



盲導犬体験会

三つ目は、青少年奉仕事業として鹿沼商工高等学校において高校生のための面接実践講座を開催しています。今年で11回目となります。プロのアナウンサーから人に伝える話し方の講義、地元企業の面接担当社員を交えての面接ロールプレイを実施しています。これから社会に出る高校生にとって面接における心構えを学べる良い機会となっています。



高校生のための面接実践講座

本年の当クラブのテーマは「仲間をふやし、未来へつなぐロータリー」です。多くの地元の方に当クラブを知っていただき、仲間を増やし、地元や国際社会に奉仕する未来へつながるクラブを目指して活動してまいります。

鹿沼ロータリークラブ 2025-26年度会長 川邊 清
幹事 人見 哲史

トップページへ
戻ります

[鹿沼東ロータリークラブ]

鹿沼東ロータリークラブは1967年6月28日に創立し(スポンサー:鹿沼ロータリークラブ)、次年度には創立60周年という節目を迎えます。現在の会員数は45名、そのうち7名が女性会員であり、女性ならではの視点や発想を生かして様々な場面でご活躍いただいております。また、会員最高齢は92歳。元気に例会へ参加されており、他の諸先輩方とともに、歴史と伝統ある当クラブの運営に多くのご助言をいただいております。

当クラブの主な事業としては、職業奉仕委員会による「マイリサーチ」が挙げられます。これは市内中学校1学年生を対象に、各職業のプロフェッショナルによる卓話を通じて職業理解を深める事業です。

社会奉仕委員会では、児童養護施設「ネバーランド」の子どもたちへの継続的な支援を行っており、例年子どもたちとの餅つきや、ロータリー文庫としての書籍寄贈などの事業を実施しています。また、生理の貧困対策として、市や各団体へ生理用品の寄贈も行っております。

国際奉仕委員会では、姉妹クラブである台湾・斗六ロータリークラブとの国際交流を継続しており、相互訪問を重ねる中で友好関係を深めています。

青少年奉仕・インタークト委員会では、当クラブが提唱する栃木県立鹿沼南高校「こぶしインタークトクラブ」との活動を通じて、未来を担う若者たちをサポートしています。

さらに、健康管理委員会では在籍医師会員による予防接種事業や、通年での健康相談・卓話など、会員の健康維持・促進に貢献いただいている点も当クラブの大きな特徴です。

国内友好クラブとしては、2530地区の川俣ロータリークラブと2012年3月の友好締結以来、様々な交流を継続しております。

鹿沼東ロータリークラブは、老若男女問わず活発に意見交換や相談のできる雰囲気を大切にしているクラブです。その源泉となる親睦活動では、会員やご家族を対象とした通年の親睦イベントに加え、「野球部」や「ゴルフ愛好会」「お花見会」など様々な行事を企画し会員同士の懇親を深めています。



児童養護施設支援事業



お花見会



ポリオ募金活動

今後も互いを尊重し合う気持ちを大切にしつつ、地区ならびにグループ内のクラブの皆様のご指導をいただきながら、楽しく温かいクラブづくりを進め、地域社会に奉仕の輪を広げてまいりたいと考えております。

鹿沼東ロータリークラブ
2025-26年度会長 鈴木
幹事 江田

勤
純也



二十二ガバナー公式訪問

Sequence
03 ポリオ撲滅キャンペーン活動報告

第2グループ ポリオ撲滅キャンペーン報告

第2グループガバナー補佐
小野 好史

第2グループは、烏山ロータリークラブ、馬頭・小川ロータリークラブ、高根沢ロータリークラブ、氏家ロータリークラブの4クラブ合同で10月26日(日)にザ・ビッグエクストラさくら店舗内また、各出入口に各クラブが分かれてポリオのチラシを配り募金活動、啓発活動を実施しました。当日は、10時30分に各クラブが集合し赤色Tシャツを着て集合写真を撮り、各クラブがそれぞれの場所に移動し約1時間30分の活動を終了しました。

その後、氏家クラブの例会場に戻り募金の集計をして各クラブに分配し、昼食をとり解散しました。

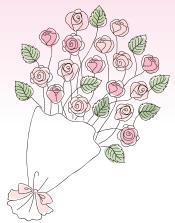
募金に協力してくださった皆様に、心より感謝いたします。

全世界からポリオ根絶の達成を願い活動報告とします。


[トップページへ戻ります](#)


Sequence
04 新入会員 / お知らせ

【新入会員紹介】



宇都宮東 RC

ソニー生命保険(株)宇都宮支社
ライフプランナー(営業職)
腰塚 亮
(こしづか りょう) 2026.1.6入会

新入会員の腰塚亮です。皆様と共に、奉仕の心で社会に貢献したいと思います。



宇都宮東 RC

宇都宮計機(株)
代表取締役
菊地 泉太郎
(きくち せんたろう) 2026.1.6入会

本年より入会致しました。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



宇都宮東 RC

(株)塗装技研
代表取締役
本山 昭彦
(もとやま あきひこ) 2026.1.6入会

微力ながら社会に貢献したく、皆様のお力になれればと思います。



足利わたらせ RC

関東観光コンサルタント(株)
四家 章裕
(しけ あきひろ) 2026.1.8入会

異業種の諸先輩方との交流を通じ学び、会に貢献し、人間的成長につなげたい。



栃木 RC

アストレア(ASTREA)
代表
坂原 光恵
(さかはら みつえ) 2026.1.7入会

御縁に感謝致します。未熟では御座いますが御指導の程宜しくお願い致します。

【2028年規定審議会代表議員・補欠議員について】

2025-26年度地区大会決議第10号にて採択されました、規定審議会代表議員並びに補欠議員選出につきまして、指名委員会を開催し下記の通りとなりましたのでご報告いたします。

任期は2026年1月1日から2028年6月30までです。

規定審議会代表議員 森本 敬三パストガバナー(大田原中央RC)
規定審議会補欠議員 三井福次郎パストガバナー(佐野RC)

地区内・外 主要行事予定

▶ 地区ホームページへ

送金カレンダー

▶ 地区ホームページへ

クラブ定例報告カレンダー

▶ 地区ホームページへ

例会場/事務所一覧

▶ 地区ホームページへ

地区組織図

▶ 地区ホームページへ

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ▶ 「ハイライトよねやま」へ

文庫通信

▶ ロータリー文庫へ

Rotary Club of Japan - Japan Rotary Clubs Library

最新号 文庫通信 396号

文庫通信 396号 : 職業奉仕

「奉仕の理念を未来へ繋ぐ ロータリーの原点発明 23~34から綴じて奉仕の心」 D.2580 職業奉仕部門 / 2023/77P
「職業奉仕」だより! D.2750 奉仕プログラム・職業奉仕委員会 / 2021/39P
「職業奉仕は難しい? 「ためになる魅力あるロータリーガイドブック」抜粋」 D.2590 研修委員会 / 2023/8P
「ロータリーの職業奉仕の現状と未来」 刀根荘兵衛 / D.2610 職業奉仕委員会 / 2020/85P
「私のささやかなロータリー体験 第2集(抜粋) 第1~3部」 福西宣孝 / 2019/122P
「カムリーバンクを創るにて職業奉仕を基づく」 御居仁 / 月信: 2024・3月/2P
「特集『難しいと思っていませんか? 職業奉仕』 友: 2024・1月/7P
「職業奉仕の手引道」 RI/2025/10P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森ビル別館6階

Sequence

05

コーディネーターニュース

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2026年2月号 No.1

発行: Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

「会員増強雑感」

第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター(RMC) 田中 久夫 (高崎 RC)

会員増強・維持には1年のうちに不安な波が2回くる。そうだ、1度目は 12 月末、2度目は6月末だ。この原稿は1月初めに書いている。皆さんの地区の 12 月末の様子がどうなっているのかが心配だ。この波を上手に乗り切り後半戦を迎えるれば気分も上がって、さらに増強のヤル気が起きるだろう。反対に、波に揉まれて原点(年度初めの会員数)を下回ったりすれば気分はダダ下がり、後半戦は早くも消化試合の様相に陥っていく。

少し冷静になって考えると、①会員増強は「入会者>退会者」であり、②会員維持は「入会者=退会者」、③会員減少は「入会者<退会者」である。多くの地区では、入会者数は毎年度ほぼ同数であるという傾向がある(地区の会員数の約 7~10%という統計がある)。これは、地区の会員が増強に必要性を感じて、毎年度必死に新会員を徴募しているからだ。一方、退会者が出ていたときには余り関心を寄せていない。退会者を少なく出来れば①の結果が得られる、当たり前のことだ。

退会者にその理由を聞いた RI のアンケートがある。第1位は「経済的・時間の負担」約 30%、第2位は「クラブの環境と文化に馴染めなかった」約 23%、第3位は「期待に沿わなかった」約 19%だ。退会者の 70%以上がこの3つの理由に絞られる。だとすれば、この原因解消に努めよう! というのが我々ロータリー会員の使命となる。

退会理由第1位の解消方法は、「クラブの柔軟性」の活用だ。例会の形式、回数と出席の取り扱い、会員の種類と会費の金額の区別などを考えることだ。第2位の解消方法は、クラブ運営の根幹に係わる問題だ。クラブには、すべての会員が自分のペースで自分らしく参加できているか、会員の誰かがガマンを強いられていないか、皆がいまのクラブに満足しているか、といふいわゆる「クラブの良質な居心地」「クラブへの帰属意識(Belonging)」があるかどうかが分かれ目になる。これを解消するには、クラブ・リーダーの強い意思とその重要性を理解した会員たちの協力が必要だ。ここに「会員増強・維持の絶対法則」がある。

それは、「温かい配慮(会員同士の寛容な気持ち)」×「心地よさ(皆からの認知)」=「会員増強・維持 + 帰属意識(Belonging)」の方程式である。

これを理解できない、いやこの原因解消の努力に足を引っ張る輩が居たら、そういう人には、女性初の RI 会長だった J.ジョーンズ氏の言った「雑草に水はやらなくていい。水は花を咲かせる植物にやるべきだ。雑草は抜くことだ」を実行することだ。

第3位は、ロータリーそのものへの批判である。ロータリーを理解できない人まで取り込むことはないさ、とつぶやくしかない。

紙幅の限界がきた。残りは、拙著『そうだったのか?! ロータリークラブ!!』(幻冬舎)に譲ります。



トップページへ
戻ります





コーディネーター
NEWS

2026年2月号 No.2

発行 : Region 1, 2 & 3
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
 行動計画推進リーダー
 國際大会推進チーム

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 大谷 新一郎（相模原南 RC）

第2地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐の大谷新一郎（2780地区・相模原南RC）です。補佐として3年目になり大変充実した財団地域コーディネーターを経験させていただき、益々ロータリー財団の重要性を認識しております。

さて、昨年の11月17日にロータリー財団地域セミナーが34地区の地区財団委員長をはじめ200名を超える多数の会員の参加で開催されました。

セミナーはフランチェスコ・アレツツオRI会長のあいさつの後、TRF管理委員長ホルガー・クナーク氏よりロータリー財団の現状報告とグローバル補助金や、大規模プログラム補助金による奉仕活動をマイクを片手に壇上から、私ども参加者に語り掛けるようにとても分かりやすく熱く講演されました。財団への寄付がいかに世界の平和・ポリオ根絶、そしてこれからの明るい未来を担う若い人たちへの教育に寄与しているかを講演されました。

その後第5セッションまで「会員増強につながったロータリー財団活動」のパネルディスカッション、そして伊藤RRFCによる「ロータリー財団の戦略行動計画」と題し34地区の寄付状況を数字で達成率を示し、6月までの今季目標に向かつて更なる努力を参加者皆様に訴えられた。



さらにロータリー財団奨学生で2025年3月まで駒澤大学長の各務洋子氏やロータリー平和フェローアイ豆本由紀氏による講演が行われた。

各務先生の「36年の時を超えて＜恩返しの喜び＞」と題しての講演は先生が30歳の時東京四谷ロータリークラブの財団奨学生として3歳の息子さんと2人で米国アリゾナ州立大学に留学され國際経営大学院修士課程での勉学でMIM（国際経営修士）を取得された経験を話されました。講演の副題として「国際ロータリー財団奨学生として得た人生の宝」を掲げられ、今の自分があるのはロータリークラブのおかげと、時々留学時の思いがよぎったのか涙を浮かべて話されていて、参加された会員の皆様も感動したのではないかと思いました。

10:00～17:30のぎっしり中身の濃い充実したセミナーでした。



コーディネーター **NEWS**

2026年2月号 No.3

発行 : Region 1, 2 & 3
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
 行動計画推進リーダー
 國際大会推進チーム

第3地域 台北国際大会推進チーム 大橋 秀典（東大阪東RC）

2026年ロータリー国際大会に向けて、RI国際大会推進コーディネーターの出村知佳子さん（札幌北RC）を中心に準備を進めています。

我々は日本から10,000人を目指していますが、現在4,348名の登録を頂いています。あと、5,652名です。

日本は台湾に次いで世界第二位です。

10,000人を目指して皆様のご協力をよろしくお願ひします。



・主なプログラム

6月14日(日) 午前7時～ 圓山大飯店 12階にて親善朝食会。

開会式（午前・午後の2回）台北ドーム

6月15日・16日 全体会議(午前)

6月17日 閉会式(午後)

・国際大会では国際ロータリーが如何に国際的な組織であるかを再認識出来て、世界中のロータリー会員と友情を育む場所もあります。

どうか、ご家族、クラブの仲間、地区の仲間にも声を掛けて、皆で国際大会を楽しみましょう！

・日本チーム

国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子(2510地区・札幌北RC)

- 第一地域 岡村 瞳美(2770地区・川口RC)
- 第二地域 吉川 公章(2760地区・名古屋南RC)
- 第三地域 大橋 秀典(2660地区・東大阪東RC)

以上のメンバーで美味しい、楽しい、優しい、オモロイ、台北国際大会を目指しますので、皆様台北でお目にかかりましょう！

トップページへ
戻ります

Sequence

06 2025年12月会員数報告

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2025年7月1日	2025年7月1日	2025年12月31日
	会員数	女性会員数	会員数
足利	24	2	24
足利東	40	4	41
足利わたらせ	27	0	30
足利西	12	0	12
馬頭小川	15	0	15
今市	40	0	41
今市きぬ	24	0	25
岩舟	8	0	8
鹿沼	56	1	59
鹿沼東	43	7	45
鳥山	13	2	13
黒磯	32	3	34
葛生	38	0	39
益子	29	3	28
壬生	15	1	15
真岡	45	0	47
真岡西	39	5	38
日光	17	4	17
西那須野	43	3	42
大田原	18	2	19
大田原中央	16	1	16
小山	21	1	20
小山中央	24	2	24
小山東	22	0	20
小山北	26	0	25
小山南	16	2	16
佐野	46	0	49
佐野東	21	2	19
下野上三川	24	3	24
高根沢	10	1	10
田沼	44	0	44
栃木	43	6	44
栃木南	35	9	38
栃木西	28	0	29
氏家	27	3	31
宇都宮	95	4	100
宇都宮90	39	5	39
宇都宮東	96	0	96
宇都宮北	43	0	44
宇都宮さつき	22	5	22
宇都宮南	56	7	56
宇都宮西	65	0	67
宇都宮陽北	63	7	62
宇都宮陽南	18	5	19
宇都宮陽東	48	10	47
45RC	1526	110	1553
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	14		36
蕨の街とちぎ	5		5
作新学院大学	4		4
宇都宮東	5		9
文星芸術大学			13
国際医療福祉大学			11
7RAC	32		82

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6~7日程かかる場合があります。

トップページへ
戻ります 